

塩化ビニル系防食テープ

# NO.51

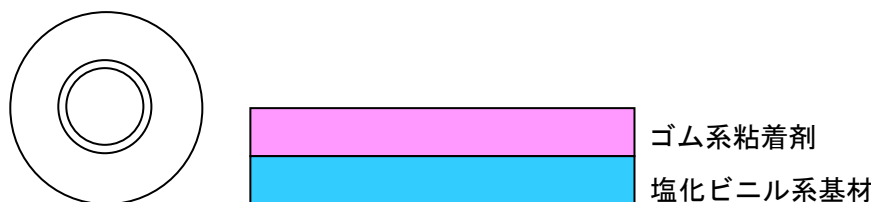
## 概 要

---

各種パイプラインの保護・防食を目的として開発された防食テープです。塩化ビニル基材とゴム系粘着剤で構成されており、耐久性・防食性にすぐれ、巻付け作業性が良好です。また、柔軟性基材ですので特に低温作業時での接続部等の屈曲部にも適するよう設計されています。

## 構 造

---



## 用 途

---

- 各種パイプラインの保護・防食用。
- 電力ケーブル・通信ケーブルの保護・防食用。
- 鉱山・化学工場などの過酷な条件下でのパイプの保護・防食用。

## 特 長

---

- テープ構成は適度な柔軟性をもつフィルム基材と厚い粘着剤のため、ジョイント部、屈曲部などにもよくなじみます。
- 基材は塩化ビニル系であり、電気絶縁性・耐薬品性・低温特性にすぐれています。
- 粘着剤はゴム系のため、粗面にもよくなじみ、密着水密性にすぐれています。
- 耐久性・防食性にすぐれます。
- シール性・クッション性に富みます。

管理番号. ANT-009-J-2      2013/09/17      1/3

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

## 標準サイズ

表 1. 標準サイズ

品番	色相	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (m)
NO. 51 (一般) - 黒	黒	0.4	25 50 75 100	10
NO. 51-SG	シルバーグレー			
NO. 51-アイボリー	アイボリー			
NO. 51-W	青			
NO. 51-SW	空			

## 性能

### ●一般特性

一般特性を表 2 に示す。

表 2. 一般特性

項目	測定値	試験法
テープ全体厚さ (mm)	0.4	—
粘着力 (ステンレス) (N/25mm 幅)	常態	JIS Z 0237 (2009) に準拠 2kg ローラー、300mm/分の速度で 180 度に 引きはがす
	*温水浸漬後	
自背面粘着力 (N/25mm 幅)	常態	JIS Z 0237 (2009) に準拠 自背面に 2kg ローラー 10mm/秒の速さで 2 往復圧着後、300mm/分の速度で 180 度に引 きはがす
	*温水浸漬後	
引張強さ (N/25mm 幅)	120	JIS Z 0237 (2009) に準拠 標線長さ 50mm 引張速度 300mm/分
伸び (%)	250	
耐熱性	良好	JIS Z 1901 に準拠 50°Cx2 時間後取り出し直ちに巻き戻し、 フィルム/粘着剤の変色、流出、粘着剤 のはがれがない事。
耐寒性	良好	JIS Z 1901 に準拠 -5°Cx2 時間後取り出し直ちに巻き戻し、 フィルム/粘着剤の切れや亀裂、粘着剤のは がれがない事。
PH の変化	±1.0	JIS Z 1901 に準拠 煮沸した純水に 10 分間投入後 PH を測定し、 常態の PH 値との差を求める。
*温水浸漬試験条件 常態と同じように圧着後 70°C 温水中に 5 時間浸漬後、水を拭き取り常態と同様に測定		

注) 上記数値は、測定値の一例であり、保証値ではありません。

管理番号. ANT-009-J-2      2013/09/17      2/3

ご注意: 本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体 (テープに貼り合わせる材料) との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

●耐薬品性

薬品に1,000時間浸漬し、引張強さ・伸びを表3に示す。

表3. 耐薬品性

項目 薬品名	引張強さ (N/25mm幅)	伸び (%)	体積抵抗率 ( $\Omega$ cm)
浸漬前	120	260	$5 \times 10^{13}$
10% 食塩水	130	220	$4 \times 10^{13}$
10% 苛性ソーダ	130	230	$3 \times 10^{13}$
10% 硫酸	110	210	$4 \times 10^{13}$

●水密性

下図のように50mmφの鋼管にNO.51を1/2重ね巻きで1回巻付ける。

巻付け後3%食塩水に浸漬し、絶縁抵抗計を用い抵抗値の変化を測定する。

絶縁抵抗

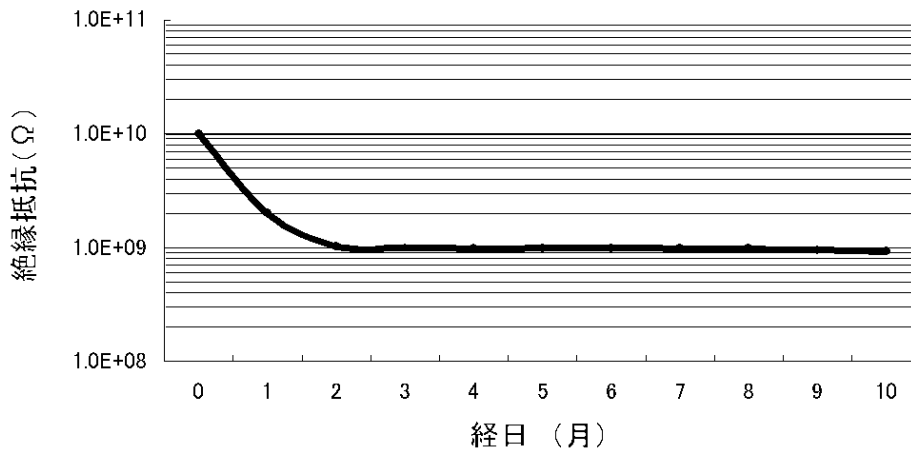


図2. 経日絶縁抵抗

## 注意事項

- テープは日射の当たらない室内に保管してください。
- 環境温度が70℃以上の場所へは使用しないでください。
- 巻付け後、有機溶剤に触れる場所へは使用しないでください。
- 冬場低温時は粘着テープを暖めると、接着がよくなります。

- お問い合わせは・・・テクニカルサポートセンター工業材料グループ T-FOX  
E-mail: tfox@nitto.co.jp TEL: 0532-41-7838 FAX: 0532-41-8446

管理番号. ANT-009-J-2 2013/09/17 3/3

ご注意: 本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体(テープに貼り合わせる材料)との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。